

人権だより

No.6 発行日 R1.10.18



今月の人権標語

心配です 笑顔の裏の その涙

今月のコラムは解放未来塾について書いていただきました。解放未来塾で人権について学んだり意見交換をしたりすることで、自分の視野を広げることができます。興味がある人はぜひ積極的に参加してみてください。

「解放未来塾を知っていますか」

人権・同和教育課 松岡敏男

みなさんは『解放未来塾』というのをご存じですか？「塾」といっても、英語や数学など教科の勉強をする学習塾ではありません。自らを解放し、未来を切り開くための塾です。何から解放されるかという、それは差別と偏見です。

中学生や高校生の有志が集まって、大森文化会館というところで月に1回の勉強会を開いています。テーマはあらゆる人権問題です。先月はLGBT（性的マイノリティ）について学習しました。ただ学ぶだけでなく、自分たちで意見を出し合って、話し合っています。学校では遠慮して言い出しにくいことでも、ここならみんなが話を聞いてくれます。

年に1回、夏休みには現地研修といって、泊まりがけで遠くに出かけることもあります。これまで、岡山県の渋染一揆の跡地を訪ねたり、高知県の教科書無償運動に携わった方たちから話を聞いたりしました。

また、昨年度は『人権ふおーらむ』で、篠山中学校の3年生とコラボして人権劇を発表し、見に来てくれた多くの方々に賞賛や激励の言葉をいただきました。

今年も人権劇を計画しています。自分たちの思いを台詞に込めようと、4月からシナリオ作りに取り組んできました。休みの日にも塾生たちは自主的に集まって、何度も話し合いを重ね、ようやくシナリオも完成に近づいているようです。年が明けた1月25日（土）、御荘文化センターで開かれる『人権ふおーらむ』で発表する予定です。

こういう集まりがあるのだということを、ぜひみなさんにも知っておいてもらいたいです。現在、塾生は6名ほどですが、人権問題に興味・関心のある中学生・高校生なら誰でも参加できます。詳しいことが知りたい人は、人権・同和教育を担当している先生に聞いてみるといいですよ。



☆ みんなの声 ~前回の人権だよりを読んで~ ☆

- 僕も無意識に自分の考えが正しい、当たり前とってしまうことがあると思います。実際、正しいこともあると思うけれど、1つの考えにとらわれず、柔軟に対応していきたいです。
- いろいろな視点で物事を見られるようになると、自分の考え方ももっと良くなる気がしました。いろいろな角度から考えられる人になりたいです。
- 自分の価値観と周りの人の価値観は違うというのは分かっているつもりだったけど、自分の考えが正しいとどこかで思っていたように思います。だから、もっと相手の気持ちになって考えられるように心がけたいです。
- 晴れの日や雨の日にはそれぞれいいところがあります。人間関係でも人はそれぞれ違ったいいところがあり、それに応じて常に相手のことを考えることが大事だと思いました。
- 相手のことを考えて行動することはとても難しいと思います。自分と全く同じ考えを持つ人はほぼ0に近いと思うし、物事の見方も全く違うと思います。そういったことを考えると、大勢の人と意見を交わし合うことの大切さが分かりました。
- 私は何でも自分が正しいと思ったことを貫くタイプですが、それは他人の意見を聞かない人でもあるのだと思いました。他人の言うことを聞けない人は他人の立場に立って考えることもできないと思うので直していきたいです。
- 私も無意識に「良い天気」と聞くと、勝手に「晴れ」をイメージしていました。天気のことだけではなく、他のことでも自分の考えが正しい、みんなに共通していると思ってしまうのではないかと思います。

きりとり

【保護者用】

今月の人権だよりを讀んでの感想をお願いします。 ※締切り 10月25日(金)

()年 保護者

きりとり

【生徒用】

今月の人権だよりを讀んでの感想をお願いします。 ※締切り 10月25日(金)

()年 ()組
